

ツキノワグマにご注意ください！

今年は6月以降、人の生活圏内でのクマの目撃情報件数が非常に多く、みなかみ町内では9月末までに250件となっています。(昨年度は86件)

また、県内では今年度2件目の人身被害が9月14日に嬭恋村で発生しています。決して「自分だけは大丈夫」とは考えないでください。

住宅地周辺でクマを目撃したら、建物や車の中に避難し、役場獣害対策センターや警察へ通報してください。

- ・冬眠を控えクマの食欲が増す時期で、比例して里での危険度も増します。
- ・毎年クマとの不意の遭遇による人身被害が発生しています。
- ・集落周辺や農地から、生ゴミや放置果実等の誘因物を除去しましょう。
- ・利用していない柿・栗などの伐採を検討してください。
- ・朝夕の犬の散歩も注意が必要です

1. やむを得ずクマの生息地である山林に入る場合
 - ・クマ鈴やラジオなど音の出るものを持って行きましょう。
 - ・もしもの時のために、市販されているクマ撃退スプレーを持参しましょう。
 - ・クマの行動が活発になる時間帯（早朝や夕方の薄暗い時間帯）を避けましょう。
 - ・キノコ採りや魚釣り等は夢中にならずに、常に周囲の音や気配に注意しましょう。
 - ・新しい糞や足跡を見つけた時は、すぐに引き返しましょう。
2. もしクマに出会ってしまったら
 - ・慌てず、騒がずに、落ち着いて、クマとの距離に応じて対応しましょう。
 - ・走って逃げたり、大声を出したりすると、クマがパニックになって攻撃してくる危険があります！絶対にやめましょう。
 - ・子グマの場合も、近くに母グマが潜んでいます。可愛いからといって、近づいたり、写真撮影するのは絶対にやめましょう。
 - ・距離が近くこちらに気付いた場合は、クマから目を離さずにゆっくりと静かに後退しましょう。その際には、万が一の突進に備えて、クマとの間に障害物（立木など）がくるようにしましょう。
3. クマが向かってきた場合
 - ・クマ撃退スプレーを持参した場合は、目や鼻をめがけて噴射しましょう。
 - ・もうダメだ！と思ったら、防御姿勢（お腹を地面に向けてうずくまり、頭や首を両腕で守る）をとりましょう。